

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第377号
事故等種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成21年12月19日 09時00分ごろ
発生場所	兵庫県加古川市別府沖 東播磨港別府西防波堤灯台から真方位258° 1,825m付近 (概位 北緯34° 41.6′ 東経134° 48.7′)
事故等調査の経過	平成21年12月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 第八良丸 ^{よし} 、18トン 294-2104大阪、個人所有 B はしけ ◇永115、全長33.2m×幅7.3m なし、中央港運株式会社 C はしけ ◇永318、全長31.0m×幅7.5m なし、個人所有 D はしけ ◇永110、全長33.2m×幅7.3m なし、中央港運株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船頭、なし C 船頭、なし D 船頭、なし
死傷者等	なし
損傷	A なし B なし C なし D なし BとCの間のえい航ロープが切断 のり養殖施設に損傷
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、B船、C船及びD船を順次つないで引船列（以下「本件引船列」という。）を構成し、加古川市沖を航行中、平成21年12月19日08時50分ごろ、B船とC船間のえい航ロープが切断し、09時00分ごろC船とD船がのり養殖施設に進入した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 7、視界 良好 海象：波高 約2m 播磨南東部地域に、強風・波浪注意報発表中
その他の事項	船長は、付近海域を6年前から月約6往復していた。 運航会社は、出航の判断基準を西の風13m/s以下としていた。 船長は、阪神港に荒天避泊していたが、大阪湾海上交通センターのテレホンサービスで、風の状況を30分毎に確認していたところ、12m/sとなったので、このまま弱まっていくものと思い、19日03時00分ごろ

	阪神港を出航して東播磨港に向かった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本件引船列は、加古川市沖を航行中、風力7の風と波浪の影響を受け、えい航ロープが切断し、はしけがのり養殖施設に進入したものと考えられる。
原因	本事故は、本件引船列が、加古川市沖を航行中、風力7の風と波浪の影響を受け、えい航ロープが切断したため、はしけがのり養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	